

コーチ 1

ラーニングポータル 動画内容(要約)

動画①【使命】

スペシャルオリンピックスのアスリートは、世界を変える存在であり、毎日世界中で活動している。アスリートたちは、学び、成長し、競い、勝利を目指して競技に参加している。

アスリート宣誓は、スペシャルオリンピックスの精神を表している。

「わたしたちは精一杯力をだして勝利を目指します。たとえ勝てなくても、がんばる勇気をあたえてください。」

誰もが居場所を持ち、勇気と能力、技術、笑顔が引き出され、世界が変わるという理想を描いている。

スペシャルオリンピックスは 1968 年、ユニス・ケネディ・シュライバーにより創設。

現在、170 か国以上で数百万人の知的障害のあるアスリートが活動しており、年間 8 万以上の競技会を実施し、2 年ごとに世界大会(夏季・冬季)を開催している。

あらゆる能力を持つ人々が集まり、尊重と包摂のある社会を目指している。

スペシャルオリンピックスは、インスピレーション・希望・理解を共有する国際的な家族ネットワークである。

世界の最も困難な地域の子どもや大人に手を差し伸べる、コーチやボランティア、地域づくりの担い手が活動している。

スポーツは活動の中心だが、それにとどまらず、多面的に社会変革に貢献している。

主要な取り組み:

- ・ヘルシーアスリート: 知的障害のある人々のための世界最大の公衆衛生プログラム
- ・ヘルシーコミュニティ: 健康ニーズに対応する政策や企業行動の変革を促進
- ・ユニファイドスポーツ: 障害の有無を超えた関係構築と理解を支援
- ・ヤングアスリート: 2~7 歳の子どもと家族にスポーツの力を提供
- ・アスリートリーダー: トレーニングを受け、模範として世界中で尊敬を得る存在

スペシャルオリンピックスは、すべての人の中にある「チャンピオン」を引き出す。

「一緒にプレーし、スポーツを通じて世界を変えよう」

動画②【ディビジョニングとは？】

勝敗が最後まで分からない接戦は、アスリートやファンにとって最もエキサイティングな瞬間である。スペシャルオリンピックスでは、アスリートが自己ベストに挑戦することを大切にしている。「ディビジョニング」は、すべての選手に公平で有意義な競技経験を提供するための仕組みである。ディビジョニングは、スペシャルオリンピックス競技会における世界共通の基盤であり、アスリートに成功のチャンスを最大限に与える仕組みである。

ディビジョニングの 2 段階プロセス：

1. 記録・個人技能スコアを事前に提出(例:タイム、距離、アセスメント)
2. 実際の競技の中で競技能力を評価(例:予選の記録、採点、対戦結果)

最終的なディビジョン

- ・性別、年齢、競技能力レベルを基に編成
 - ・ディビジョン内の競技能力差が 15%以内(規則ではなくガイドライン)
 - ・各ディビジョンの人数／チーム数 3～8 人／チーム
-
- ・ディビジョニングは有意義な競技経験を実現し、挑戦意欲と成長を引き出す。
 - ・コーチはディビジョニング成功の鍵を握る重要な役割を担う。
 - ・この制度を通じて、知的障害のあるアスリートは能力に関係なく価値を認められ、「ベストを尽くす」ことが称賛される。